

第 2 回生駒市商工観光ビジョン懇話会 議事要旨

日時	平成 2 9 年 1 月 1 7 日 (火) 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
場所	生駒市役所大会議室
出席者	参加者 池田、稲森、井上、大原、緒方、小川、久保(浩)、久保(左)、菅、中村、西岡、林、久内 欠 席 唐金、佐藤、高枝、高橋 生駒市役所 小紫、平井、岡田、知浦、巽、水澤、原田 アルパック 高田、石井 <div style="text-align: right;">敬称略</div>
議事	1 開会 2 市長あいさつ 3 報告事項 (1)各部会からの報告 4 意見交換 (1)生駒市商工観光ビジョン懇話会提案書について 5 その他 (1)策定スケジュールについて 6 閉会

【議事要旨】

1 開会

2 市長あいさつ

3 報告事項

座 長 : これまで「商業観光分科会」と「工業分科会」がそれぞれ 2 回ずつ開催され、各部会においてご意見をいただき、現状と提案をまとめた。これらまとめたものについて、工業分科会は中村部会長から、商業観光分科会は私から報告する。

・生駒市商工観光ビジョン懇話会提案書(案)

参加者 : P7「(3)観光」の現状認識に「往馬大社」を入れてほしい。

座 長 : 提案の文言を入れてよいか？

全 員 : 異議なし。

参加者 : 「暗峠」も観光資源として重要である。

事務局 : 表現としては「暗越奈良街道周辺」が良いと思う。

参加者 : その表現の方がよい。

座 長 : 提案の文言を入れてよいか？

全 員 : 異議なし。

参加者 : この提案書は懇話会が市に提案するものという位置づけではあるが、市が事務局としてこの懇話会を運営してきたので、次の 2 点を入れたい。

①「市と懇話会が調整しながら」という文言を P1「はじめに」に入れる。

②アンケートやヒアリングは懇話会が調査したのではなく、市が実施したのもので「アンケートやヒアリングの結果を受け」とする。

：また、P4のように「懇話会や市内企業・関係機関等へのヒアリングによる意見・提案（抜粋）」ある部分について「懇話会や」は不要である。

座長：①の提案を受け、市とともに取り組んできたのは事実であるので、もう少し外部の人が見たときにわかりやすくしてほしい。②については、「市が行った調査に対して」という趣旨が必要とのことであるが、そのような対応をすることでよろしいか。

全員：異議なし。

事務局：P1「はじめに」の下から4行目で「生駒市が実施した」という文言を付け加えることとする。

参加者：最後にメンバー表を付けるのであれば、そこに「事務局」として生駒市を入れる方法でも構わない。

事務局：了解した。

座長：みなさんよろしいか？

全員：異議なし。

4 意見交換

参加者：参考資料にある拠点整備について、現状値は「平成25年」となっていて「4年後のまち」を目指すのに「平成30年」というのは整合性が取れないがどういうことか。

座長：測定された年次が平成25年で、平成26年に策定したということではないか。

事務局：平成26年策定段階ではその年の数字は取れなかったもので、平成25年の数値を利用した。

座長：参考資料は、市の計画ではすでにこのような数値目標があるということを見てもらうためのもので、この場でこれらの指標や数値を議論するものではないことを理解してもらいたい。KPIは大事であるが、設定する場合には慎重に考える必要があると思う。今回の商工観光ビジョンではどうするか、重要なところなので議論してほしい。

参加者：P18「④農業との連携」に「イ）奈良県「漢方のメッカプロジェクト」との連携の検討」とあるが、どこまで取り組みが進んでいるのか。

事務局：近隣大学と市が包括協定を結んでおり、それらと調整しながら進めていくことを考えているが、具体的にはまだ無い。

参加者：弊社では大和トウキを使用した商品開発の話が来ている。

参加者：公益財団法人奈良県地域産業振興センターでは学研生駒テクノエリアの会社と組んだ事業について提案をもらっているようである。

：奈良県のプロジェクトでは、宇陀や高取、御所などの農業者と組んで大和トウキの栽培に取り組んでおり、生駒でも農業者にそのような動きがあるのか知りたかったので質問した。

事務局：生駒市で県とトウキの栽培について連携して取り組むことを記載する場合、問題になりそうか。

参加者：このように書いてもらっても問題ない。

座長：3～4年前に生薬の多くを外国に頼っている話を聞いたとき愕然とした記憶がある。

参加者：本日、この懇話会で提案したものの中から、最終ビジョンを作るのは「生駒市」であるという理解でいいか。

事務局：その考えで構わない。

座長：あくまでもこの懇話会は自由に意見を言ってもらう場であった。

参加者：ここに書かれているものの中で、できないものはカットされるものもあると考えておいてよいか。

座長：柔軟に考えていけばよいと思う。ここの提案がすべて通るものではない。

事務局：計画そのものは生駒市が策定するが、P2に書かれているように、市だけではなく、みんなで力を合わせてやっていきたいと考えている。

参加者：P1のメンバーに関する表現であるが、あくまでも我々は、所属機関の代表者ではなく、所属機関から推薦されてきた者であるので、その書きぶりは修正してほしい。

座長：組織によって事情が違ふと思うので、後で調整させてほしい。

参加者：P1では「住む」から「働く」へと書かれているが、P2では「住みやすいまち」を目指しているという印象にしか見えない。働きやすさに力を入れていくという雰囲気を出したい。

座長：生駒市の特徴である「住みよさ」を損なわないで経済振興を進めたいが、確かに、もう少し経済振興の色を出したい。

参加者：図の中で「働きやすい」ということを示してはどうか。

座長：ご提案のように「住みやすい」が図では強調されすぎているかもしれない。表題や表現方法について事務局で再考してほしい。

事務局：この図の書き方については再検討させてほしい。

参加者：すでにどこかで書かれている言葉であるのであれば、そのままでいいのではないか。

参加者：P17に「産業を歓迎するまち」や「職住近接ができるまち」とあるので、このような言葉を今回のビジョンの「売り」にできればいいと思う。

座長：住みやすいけれども産業も振興しているという点を見せられればよい。この件については、いったん事務局に預けることとする。

参加者：P3以降の「産業振興の方針の提案」に関する文言とP11以降の「施策に係る意見・提案」に関する文言の内容は対応しているようなので、言葉遣いは一緒にしてはどうか。

事務局：文言を統一する方向で見直しする。

参加者：参考資料にある数値は、今回策定するビジョンのKPIにしようとしているのか。

座長：提案書案のP19にもあるように、KPIについては慎重に設定してほしいと市にはお願いした。仮に、安易に達成できる数値目標を設定しても、その効果はどうかという疑問も生じる。したがって、参考資料は参考のため配布したすでに市の別の計画で設定しているKPIであり、商工観光ビジョンのKPIではない。

参加者：了解した。

参加者：P15「③観光推進体制の強化」の「ア）観光案内の充実」のところにつ

いて意見がある。外国からの観光客が来た時に、現場の案内をスムーズに行い、日本人も外国人も観光客が気持ちよく観光してもらえるように環境整備をしてもらってはどうか。

座長：環境整備をするのであれば、外国人観光客がどんどん増えてほしいのかどうか、生駒市の立ち位置と合わせて検討する必要がある。

参加者：外国人観光客の受け入れについて、現状ではいろいろと課題はあるが、今後は検討していく必要のあるものかと思う。

参加者：全国的に見てお参りの仕方を示している寺もあれば、そうではない寺もある。寺は信仰の場でもあり、観光の場ではないという意見もある。エチケットの問題に対しては、その該当する施設に直接働きかける必要があるだろう。景観の問題もあるので、注意の看板を設置すればいいという話でもない。

参加者：P7には「将来的にはインバウンドを」という表現もある。

座長：商業観光分科会では、インバウンドについて慎重に取り組んでいこうという意見が多かったと思う。

：個人として対応すべきこと、行政として対応すべきこと、あるいは対応すべきではないことを分けないといけない。「外国人観光客の対応を検討している中で、現状では課題も出てきているので、今後も対応が必要である」というような一文を入れてはどうか。

参加者：地域からも外国に向けて生駒の情報を発信していくことが大事であり、そうすると、もう少し何か対策があった方がよいと思う。

座長：「外国人観光客には当面の必要に応じた取り組みをする」としてはどうか。

事務局：P15「③観光推進体制の強化」にもう一つ加えるイメージか。

座長：「情報の発信」のところに入れてはどうか。

事務局：それでは、「海外向け観光ガイドブック等の作成」と「外国人に向けた情報の発信」の2つに分けて記載する。

参加者：P7のインバウンドについて「将来的には」という文言は外してはどうか。

座長：今の提案に対してどうか。

全員：異議なし。

座長：このほか特に意見が無ければ、本日の意見を踏まえて修正した提案書を皆さんに見ていただくことにしたい。それに対する意見の扱いや最終の手続きについては座長に一任していただきたい。

全員：異議なし。

5 策定スケジュールについて

事務局：資料3のとおり。

6 閉会